

広報 KASHIBA

かしば

7

2015.7.21
No.577



特集

ボランティアで
つながるえがお

今月の表紙



親子が楽しく手形を押して遊んでいます。これは、子育て支援サークル「地元でつながるコミュニティー かしば」が開催している親子交流広場でのひとこまです。今月の特集では、さまざまな分野で活動しているボランティアを取材しました。



ひとの動き

—6月末日現在—

人口	78,308人（前月比+42人）
男	37,579人（前月比+19人）
女	40,729人（前月比+23人）
世帯数	29,805世帯（前月比+44世帯）



香芝検定

certificate examination for KASHIBA

香芝市にはボランティアの交流や情報交換の場としてのボランティアセンターがあります。平成10年に開設されたこのセンターはどこにあるでしょう。

- ① エコール・マミ
- ② じゃんぼスクエア香芝
- ③ 香芝市中央公民館
- ④ 香芝市総合福祉センター

（答えは11ページにあります）



香芝市ボランティアセンター

CONTENTS

もくじ



もくじ..... 2

市政トピックス..... 3

奈良県立大学と包括的連携協定を結びました

特集..... 4

ボランティアでつながるえがお

住まう香芝 vol.28 8

健康・元気の源！健口生活

ひと◇まち◇かしば 10

二上山誕生のふしぎ

ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー

笑顔いっぱいプール開き

関屋カーニバル

合同企業説明会

差別をなくす強調月間

市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング！… 11

市ホームページでも広報かしばをご覧になれます。

URL <http://www.city.kashiba.lg.jp>

「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。

詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。

☎76-7179

次回発行は、おしらせ版 8月5日（水）広報かしば 8月21日（金）

奈良県立大学と

包括的連携協定を 結びました



◆問合先 市役所企画政策課 ☎内線321
商工振興課 ☎内線254・255



香芝市と奈良県立大学との
包括的連携協定調印式

主な連携内容

- ①観光資源の発掘→地域の魅力発見
 - ・市民及び来訪者アンケート、ヒアリング
 - ・市内の観光資源の現地確認調査及び評価
 - ・香芝市の特長、魅力、他市に自慢できるものなどの掘り起こし
- ②観光振興に向けた具体的な取り組みの充実
 - ・観光ウォークルートの設計
 - ・マスコットキャラクター「カッシー」関連グッズの作成
 - ・香芝市の名物・土産物づくりに向けた方向性の検討
 - ・香芝ウォークなどのイベント内容充実に向けての検討
- ③観光振興に向けた方策の整理→地域の魅力アップへ
 - ・観光情報の発信方策の検討



「観光ウォークルート」
作成にあたるフィール
ドワークの様子

教育機関との連携

6月2日（火）、本市と奈良県立大学は観光振興などの分野で連携する「包括的連携協定」を結びました。

市町村では、多様化・高度化する市民ニーズや地域課題に対応すること、地域性を活かした住みよいまちづくりを進めることが求められています。本市でも、専門的知見を有する大学研究機関と連携し、事業の立案・実施・評価・改善を行っています。そして、地域の実情に合わせた魅力あるまちづくりを進めています。

奈良県立大学

奈良県立大学は、「観光創造」「都市文化」「コミュニティデザイン」「地域経済」といった本市が都市として発展していくために必要な分野について専門的な視点で研究を行われています。

特別講義

6月2日（火）の調印式後、吉田市長が地域創造学部で観光創造コマンドの2年生約40人に対し、「新しい都市力創造の街 香芝」と題し、市の現状や課題について特別講義を行いました。

学生 VOICE

特別講義を受講後の奈良県立大学の学生たちからは次のような感想が聞かれました。



特別講義の様子

これまでの教育機関連携

- ・平成19年4月 大阪樟蔭女子大学
連携事例…赤ちゃん学校、グリム絵本館 など
- ・平成20年3月 畿央大学
連携事例…近鉄下田駅北側駅前広場整備事業への学生提案 など
- ・平成23年11月 帝塚山大学
連携事例…こころの健康相談事業 など



つながる子育て

子どもたちとお母さんたちのにぎやかな声が響き渡る五位堂駅前のビルの二室。親子交流の場「かしまひろば」を運営しているのは現役のママたちがつくる子育て支援サークル「地元でつながる」ミニコミュニティの5人。「誰もが誰かとつながって、地域の中にも子育てでできるまちづくり」を目指して活動しています。

「お母さんの持つ力は無限大。そんなお母さんたちの力を発揮できる場所を作っていきたい」と語るのは代表の西本さん。かしまひろばは、一方的にスタッフ主導で運営するのではなく、参加者の力を少しずつ借りながら、一緒に作るひろばを目指しているとのこと。場を盛り上げるのが得意なお母さんは、もじもじと恥ずかしそうにしている子どもたちをあつという間にひとつにまとめて、笑顔を引き出します。また、手先の器用なお母さんはワークシヨップで周りにいる子どもたちに声をかけ、少しずつ親子の交流の輪を広げていきます。かしまのメンバーは「今は仕事をしていないけれど、ここで自分の特技を生かして活躍できることが、大きな自信になります」「毎月のみんなの成長を実感できるのも楽しみの1つです」と活動の喜びを話してくれました。

また、参加者は「子どもにも私にも友達が増え、毎回とても楽しみ。ひろばは私にとってかけがえないよりどころです」という声を聞かせてくれました。

活動内容 facebookを使って子育て情報の発信や、子育て広場の運営、そして子育てボランティアの育成にも力をいれています。

守りたい

「何も特別なことはしていません。少しでも誰かの役に立てばそれでいいんです」と、微笑みながらインタビューに答えてくれたのは、ボランティア「お役に立ち隊」代表の大谷さん。

「お役に立ち隊」は約10年前、市の要請により「違反広告物追放推進団体」の1つとして、老人クラブの有志で設立。以降、閑屋近鉄住宅地自治会域内の違反広告物除却を精力的に行ってきたことにより、現在では違反広告物は激減し皆無に近い状況です。最近では、毎週土曜日に公園の清掃を行うなど環境美化促進活動のほか、高齢者の見守り活動にも力をいれています。

今回、「お役に立ち隊」に枯れ木の撤去を手伝ってもらった乾さんに話を聞くことができました。「高齢者の一人暮らしで、枯れた柿の木から落ち葉が出るし、倒れそうになるし、ずっと困っていたのです。そこで大谷さんに相談したところ、次の日にははしご



を持つてきてくれて、2日かけて処分してくれました。近くに何でも相談できる人がいて、助かっています」と乾さんは話し、「こうやって喜んでもらえることが、活動の原動力です」と大谷さんは微笑みます。

活動内容 地域の絆を深めることを目的に、清掃活動や違反広告物除却など環境美化促進に取り組んでいます。また、高齢者家庭の生活相談なども行っています。



近況を尋ねる大谷さん(右)と乾さん

?



「ボランティア」と聞いて、皆さんはどんなイメージを持っていますか。

かつてはその語源(Voluntas II 自由意志)からも、慈善精神による自発的な奉仕活動、無償労働で、限られた人たちの活動というイメージが強くありましたが、今ではボランティアに対する考え方は大きく変化しています。

本市でも、ボランティアセンターに86団体が登録し、多くのかたが活動しています。そして、それぞれが認め合い、支え合い、香芝のまちをつくる力となっています。

今月の特集では、ボランティアの現場でいきいきと活動する人たち、サービスを受けている人たちの声を伝えるため、7つの団体と1人のかたに取材をしました。

つながる

ボランティアで

心豊かに成長する

「地域と国と世界への責任を果たし、人に役立つことを心がけます」。揃いの制服姿で、いつも活動の始まりに「約束」を合唱しているのは「ガールスカウト奈良県連盟第46回」

です。ガールスカウトは小学校就学前の児童から高校生までの少女会員と、運営に関わる成人会員はすべて女性で、「少女と女性が自ら学び行動する」ことを目的に活動する社会教育団体です。

活動についてスカウトに話を聞くと、「私が行動することで喜んでくれる人がいる。人の役に立っていることを感じるとして



えがお



も気持ちがいい」「老人福祉施設を訪問したときは、歌や劇を披露しました。中には、涙を流して喜んでくれる人がいて、やっていてよかったな、必要とされているな、ととてもうれしくなりました」と話してくれました。

団委員長として自身も無償で団の運営に奉仕している三浦さんは「ボランティアは意外と楽しいですよ。誰かに必要とされることで自分の存在価値の確認になって、少女が自己肯定感を高める大切な機会にもなっています」とボランティア活動の意義を語ってくれました。

活動内容 自然体験や国際理解学習のほか、募金活動や老人福祉施設訪問など、少女が社会と関わるさまざまな活動を行っています。

健康でいきいきと

赤いシャツがトレードマークの「香芝市健康運動普及推進協議会」。地域に密着した健康づくり運動の普及、啓発を行う健康ボランティアです。

メンバーは定期的に専門の講師から指導を受け、知識・技術の向上に努めています。

現在28人いるメンバーに活動の感想などを尋ねると、「参加者の笑顔が私たちの喜びであり、とても達成感を感じる瞬間です。これがあるから続けられるんですよ」「市民の健康意識を高めるという目的を持つことで、自分自身が真剣に打ち込めるライフワークを見つけたことができた」と目を輝かせます。

また、健康体操教室に定期的に参加しているかたは「みんなと一緒に体を動かすと気持ちいいのよ」「ここに来て、みんなの元気な顔を見ることが何より楽しみ」「元気に体を動かして、いつまでも若々しくいたい」と教



室の感想を話してくれました。

活動内容 市民の健康づくりを目的に、ウォーキングや体操教室を開催するほか、公民館などに出席して教室を開くなど、地域活動も積極的にを行っています。



ボランティア活動で大切なことは...

自発性

人から強制されたり義務としてするのはなく、個人の自由な意志で行う活動です。

社会性

お互いを尊重しながら地域のことを一緒に考え、誰もが気持ちよくいきいきと生活できるよう支え合う活動です。

無償性

ボランティア活動は経済的な報酬を求める活動ではありません。ただし活動するためには必要な経費は受け取っても問題ありません。

創造性・開拓性

私たちの生活の中でのさまざまな課題を自分たちで考え、解決するためにできることを実践したり、発信したりしていく活動です。



美しい未来を

「地 球温暖化ってどういうことか知っている?」。市内の小学校で4年生の環境学習の講師をしているのは環境ボランティア「エコみるず」の皆さん。平成12年に活動を開始し、現在は8人のメンバーで小学生の環境学習の手伝いをしています。

代表の南浦さんは「子どもたちには、学校で学んだことを家庭に持ち帰ってもらい、家族で環境について話を深めてもらいたい。子から親へ、そして地域へとりサイクル活動の輪を広げ、市民全体の環境意識を高める



ことにつながっていききたいですね」と話します。

ボランティア活動についてエコみるずのメンバーは「子どもたちに正しい情報を伝えなければいけないので、非常に責任を感じています。だからこそ、日々勉強する中で自分自身も向上できるんですよ」「活動を通して仲間との交流を深め、自分が豊かになっていくのを感じています」と話してくれました。

活動内容 次代を担う子どもたちに美しい環境を託したいと、今年は市内7つの小学校で出前講座を開催。市のごみ処理の現状やリサイクルの大切さを伝える講義のほか、実際に紙くず・空き缶・ペットボトルなどを分別する体験などを行っています。



司会の達人

毎 週土曜日、ふたかみ文化センターで講師を招き、司会の勉強会を行っているのは、司会ボランティア「MCふたかみ」の皆さん。活動の始まりは平成8年に文化センターで開催されたMC講座の受講生が集まったところからで、「もともと声を使う仕事をしていたので」「声を出すのが好きだから」「人前であがらずに話ができるようになったくて」といろいろな動機を持つメンバーによって活動が始まりました。

「何年経験を積んでも、いつも司会のステージでは緊張します。張りつめた空気の中、自分の進行で滞りなく式典が終わり、最後の拍手を聞いたときの達成感が大きなやりがいです」「あがり症の私ですが、司会の仕事を継続して続けることで、自分に自信を持つことができ、今ではこの活動が生きがいの一つになっています」「会社を退職後、全く知らない世界に飛び込みましたが、地元のイベント司会をさせていただくことで、地域とつながっていることを実感す



ることができます」と力強く語ってくれました。

最後に、人前であがらずに話をするコツを尋ねたところ「場数を踏んで慣れることが肝心。コツコツと時間をかけて身に付けることで、体得したときは得難い宝物になるんですよ」と教えてくれました。

活動内容 成人式などの式典やイベントで、会場全体を切り盛りする司会のボランティアサークル。縁の下の方力持ちとして、言葉の妙味で華やかな舞台を盛り上げます。

募集中! まちづくり提案活動支援事業

市では、環境・子育て・福祉・文化・スポーツなど、さまざまな分野で行われている公益的・社会貢献的な活動を支援しています。

次のとおり、まちづくり事業の募集を行っていますので、皆さんのご提案をお待ちしています。

▼対象団体 市民活動団体、NPO法人など

*法人格の有無は問いません。

*活動拠点が市内で、運営に関する会則などがあり、適正な会計処理が行われていることが必要です。

▼募集内容 市民活動団体などが自ら企画・提案を行う事業

▼補助内容 補助対象事業費の1/2以内(上限50万円)

▼募集期限 8月21日(金)

▼申込方法 所定の申請用紙に必要事項を記入し、申し込みください。

▼審査方法 書類審査及び審査委員会による審査を経て決定します。

*詳しくは「応募の手引き」をご覧ください。

*「申請用紙」及び「応募の手引き」は、市民協働課で配布または市ホームページからダウンロードできます。

▼申込・問合せ 市役所市民協働課 市内線171

あなたの耳に

筆 サポートかしば「聞こえの

「さ」サポ」です。現在15人のメンバーが、高齢で難聴になったかななどの日常生活を手助けしています。

耳が不自由なことは外見では分かりづらく、周りの人から理解を得られずに人知れず苦労されることが多くあります。そこで、「聞こえのサポートかしば」は、難聴者の悩みや疎外感を取り除くために、筆談でのサポート活動をしています。「筆談は耳で聞いたことを手で書くだけ。手話と違って誰にでもできます」とメンバーは口をそろえます。

自身が難聴者で、このボランティアを利用している水口さんは「ここに参加してから人の輪が広がり、道で知っている人に出



会うことが多くなりました」とうれしそうに目を細めます。

活動内容 難聴などで「聞こえない、聞こえにくい」という聞こえに困っている人たちを筆談でサポートするボランティアグループ。買い物など、毎日の生活をサポートするほか、聞こえのサポーターを養成する講座を開いたり、耳マークの普及活動にも取り組んでいます。

(*) 耳マーク・・・耳に音が入ってくる様子を矢印で示し、「一心に聞き取ろうとする姿を表したマーク。このマークがある窓口では、受付のかたが筆談などの対応をしてくれます。

耳の不自由な方は
筆談しますので
お申し出ください



耳が不自由なことを
表すマークです



世界へはばたく

平 成

成元年生まれの25歳。山口大輝さんはこの7月から、今年で50周年を迎える「JICAボランティア」の青年海外協力隊員としてアフリカのルワンダ共和国に出発しました。

ルワンダ共和国といえばゴリラが有名な国。山口さんが活動するのは首都キガリからバスでおよそ3時間のキレヘというまち。電気・ガスも不安定な田舎のまちで、「水の防衛隊」として、給水ポンプの管理や、安全な水の啓発活動を行います。

山口さんが海外に興味を持つようになったのは、学生時代に2か月間、インドでNGO活動のインターシップを体験したことがきっかけです。「言葉、文化、宗教、気候など、日本とは全く違った途上国の暮らしに興味を持ちました。また、他国を知れば知るほど日本の素晴らし

いところに気付くことができました」と当時を振り返ります。「学生時代の経験から、最低でも1年間はそこに住まないと、相互に理解を深めることは難しいと感じました。今回、2年間の任期でルワンダに赴くことに



ルワンダ



なったので、現地の言葉を覚えて、生活を深く知りたい。そして、向こうの子どもたちに、日本の観光名所のほか、将棋や盆踊りなど日本の遊びや伝統を伝えたい」と意欲を語ってくれました。

また、帰国後の抱負について、「厳しい環境に身をおくことで、精神的にも体力的にもタフになつて帰ってきたい。そして、母校の真美ヶ丘東小学校や香芝東中学校で、子どもたちにルワンダで見てきたこと、感じたことを伝えたい。そしていつの日か、日本とルワンダの架け橋になりたい」と力強く語ってくれました。

ボランティア活動に
興味のあるかたは・・・

ボランティア センターへ

「何かをしたいけれど、何をしたいのかわからない・・・」。そんなかたには、好きなことや楽しいと思うこと、特技や趣味などを生かせる活動を一緒に考えます。ときには、無理にボランティア活動でなくても、今までは違った自分の居場所を作ってみてはと、人が集うところを紹介することも。

新たな場所でさまざまな人と出会い、互いを認め合える仲間作りから、ボランティアの心が芽生えてくるのではないのでしょうか。

▼開所日時 月・火・水・金・土
午前9時～午後4時

(祝日・年末年始は休み)

▼場所 逢坂1-374-1

(総合福祉センター1階)

▼問合先 ☎ FAX 76-77179

✉ vcenter@k-shakyo.net



ボランティアセンター
職員 村松さん

健康・元気の源！

健口生活

歯と口は健康のカギ！の巻



◆問合先 保健センター ☎77-3965

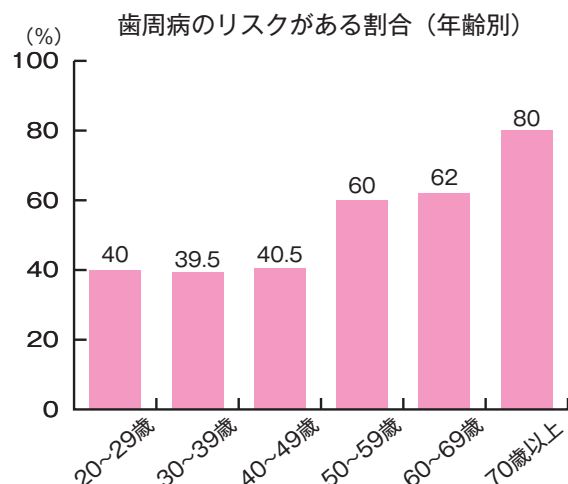
香芝市の現状

「平成26年度12歳児（中学校1年生）歯肉炎症有所見者率 奈良県歯科医師会調べ」によると、歯肉炎症がみられる子どもの県平均が17.5%に対し、本市は40.1%と県平均を大幅に上回っています。

また、本市で行った平成26年度歯周病検診の結果では、歯周病のリスク（歯周ポケットが存在する）は年齢があるにつれて増加しています。（左グラフ参照）

そのほか、20代や30代においても、歯周病になるリスクは十分にあることがうかがえます。

若いうちからの口腔ケアについて意識を持ち、ケアすることが大切です。



ライフステージに合わせて

歯と私たちの健康は深く関わっています。私たちの生命活動である「食べる」ためにはなくてはならないものの、それが「歯」です。毎日の食事をおいしく、しかもよく消化して栄養素にするためには、健康な歯と歯肉が必要です。

また、会話がスムーズにできるのも、歯がそろっていて、正しい発音ができるからです。食事や会話を楽しむなど、豊かな人生を送るための基礎となるのも歯や歯肉の健康なのです。

もし、歯の病気の1つである歯周病が悪化すると、心臓病のリスクを高めてしまうこともあります。そのほかにも、糖尿病・肺炎・低体重児出産・骨粗しょう症などが歯周病と関連しているともいわれています。

歯を失う2大原因は、むし歯と歯周病です。歯周病は40歳以降、急速に歯を失う原因となります。また、高齢者になると、むし歯で歯を失う人も増加します。

しかし、この2大原因を防げば、歯は一生使えます。歯に決められた寿命はありません。歯の寿命を決めるのは、あなた自身です。ライフステージに合わせて、日ごろから口腔ケアをしっかり行い、長寿の歯を目指しましょう。（下図参照）

学童期・思春期

学童期では、乳歯から永久歯へ生え変わる時期です。生えだばかりの永久歯はむし歯になりやすいです。

思春期では、ホルモンバランスの乱れや生活の変化により、歯ぐきの腫れや出血などの歯肉炎が起きやすくなります。

- 自分の歯と歯肉を観察し、歯ブラシの毛先をきちんとあて、軽い力で小刻みに動かして磨きましょう。
- 学童期までは保護者の仕上げ磨きがとても重要です。



乳幼児期

歯が生え始めたときからむし歯予防のスタート！乳幼児期はむし歯にかかりやすい時期です。

- 早いうちから歯を磨く習慣を身につけましょう。
- バランスのよい食事をよく噛んで食べましょう。
- フッ素塗布もオススメです。
- 大人からのむし歯菌感染を防ぎましょう。



ライフステージに合ったケアと予防



保健センターの活用を



◆申込・問合せ先 保健センター ☎77-3965

歯びか教室

◆開催日 8月27日(木)・11月12日(木)
平成28年1月19日(火)・3月15日(火)

◆場所 保健センター

◆内容

①歯磨きデビュー☆(1歳6か月未満)

むし歯予防・ブラッシングのお話

②フッ素塗布デビュー☆(2歳)

歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素塗布体験

◆定員 各先着10組

◆持参物 ①は母子健康手帳・筆記用具、②は参加費100円・母子健康手帳・タオル・コップ・仕上げ磨き用歯ブラシ

◆申込方法 電話で申し込みください。

*フッ素塗布体験をしたことのない児童が対象です。

子どもフッ素塗布体験【2歳～小学校6年生】

◆開催日 10月18日(日)

◆場所 保健センター

◆定員 先着90名

◆費用 100円

◆申込方法 電話で申し込みください。

*フッ素塗布体験をしたことのない児童が対象です。

フッ素塗布で
強い歯に!



歯周病検診【20歳以上のかた】

歯科医師による歯科検診や歯磨き指導を行っています。「セルフケアってどうしたらいいの」「私のブラッシング方法は正しいのかな」なども相談いただけます。

日ごろのご自身のセルフケアにプラスして、ぜひお気軽に参加ください。



◆開催日 9月3日(木)・10月1日(木)
11月5日(木)・11月19日(木)
12月3日(木)
平成28年2月4日(木)

◆場所 保健センター

◆費用 無料

◆持参物 健康手帳

*お持ちでないかたは当日発行します。

◆申込方法 電話で申し込みください。

*歯科治療中でないかたが対象です。



1年に1度は定期検診を受けましょう

悪くなってから診てもらうのではなく、普段からかかりつけの歯科医師をもち、定期的に指導を受け、自分の歯を守っていきましょう。

壮年期・高齢期

年齢とともに歯周病などにより、歯を失う人が増加していきます。また、噛む機能が低下する時期でもあります。

- 50歳以上のかたは1～3か月ごとの定期検診が望ましいです。
- 脳の老化の防止のためにもよく噛んで食べましょう。
- 毎日の歯のケアを行いましょう。



青年期

生活環境の変化に伴い、むし歯だけでなく歯周病(歯肉炎・歯周炎)がみられるようになります。

- 1本1本時間をかけて丁寧に歯磨きをしましょう。
- 早めに歯肉をチェックする習慣を身につけましょう。
- 年に1回は定期的に歯科検診を受けましょう。



二上山誕生のふしぎ

5月31日(日) 二上山～どんづる峯

二上山博物館の主催で、子どもたちが二上山の自然や歴史に親しむためのフィールドワークが行われました。

100人の参加者は、二上山、ダイヤモンドトレール（全長約50kmに及ぶ遊歩道）の一部、どんづる峯を通るルートを、約6時間かけて歩きました。

道中、ガーネットやサヌカイトなどの岩石の観察・採集を行い、太古の昔、火山だった二上山の歴史に触れました。



採集した岩石・鉱物を、講師の先生に見てもらおう子どもたち

関屋カーニバル

6月27日(土)

地域の活性化や世代間の交流を目的に、「関屋まちづくり協議会」が主催するまちおこしイベントが行われました。近隣自治会などによる屋台や催し、手作り雑貨店が軒を連ね、また、移動動物園がやって来るなどして、会場となったあけぼの・保育園は2,000人を超える来場者で賑わいました。

来場者は「市内でこんなに楽しいイベントがあったとは本当に驚き。家族で一日楽しめました」と感想を話しました。

開会式では、多くの来場者を前に、あけぼの・保育園の保護者などによる和太鼓演奏が行われました。



ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー

6月7日(日) モナミホール

アメリカからやってきた歌とダンスのパフォーマー「ヤングアメリカンズ」。海外の若者たちと香芝の子どもたちが3日間のワークショップで20数曲の歌やダンスを一緒に学び、ステージを作り上げました。

全力でパフォーマンスをする子どもたちからは、元気いっぱいの笑顔があふれ、ダイナミックなステージとなりました。会場は拍手喝采で大いに盛り上がりしました。



合同企業説明会

6月30日(火) ふたかみ文化センター

香芝市内の企業18社が一堂に会し開催された合同企業説明会。さまざまなジャンルの企業が集まり、市内企業に興味を持つ若者が参加しました。

就職希望者は各企業のブースを巡り、企業概要や求人内容などの説明を受け、熱心にメモを取りながら、積極的に質問をしました。また、ハローワーク大和高田や高田しごとiセンターによる就職相談も実施され、就職活動に対するアドバイスを受けました。



笑顔いっぱいのプール開き

6月～ 市内各保育所・幼稚園・小学校

6月から、市内の各保育所・幼稚園・小学校でプール開きが行われました。

写真は、6月16日(火)に行われた志都美幼稚園の様子です。プールに入った瞬間から、園児たちのうれしそうな笑顔。ボール遊びや水の掛け合いっこなどをしました。園児たちからは、「楽しい」「もっとプールに入りたい」という声も聞かれ、プール遊びを楽しみました。



差別をなくす強調月間

7月1日(水)～31日(金)

7月2日(木)、近鉄五位堂駅・二上駅前では人権擁護委員会が中心となって、人権啓発を呼びかけるティッシュ配りが行われました。

また、7月6日(月)には、市役所で「香芝市企業内人権教育推進協議会」の総会が開催され、『おもいやる あなたの心が 助け舟』など、「差別のない明るい職場づくり」の標語が表彰されました。そのほかにも、市内各地で差別をなくすためのさまざまな取り組みが企画・実施されました。





たくさんの出会いに感謝して

田上 典子さん

一期一会・・・この時、この一瞬は今しかない。だから相手に思いやりの心をもって接し、大切にしなければいけない・・・

人と人との出会いは偶然のように思えて、実は、自分にとって必然性があるように感じる。自分が学ぶべきことがあるから出会ったのだと。

香芝市に引っ越して20年になるが、おかげさまで、日常たくさんの人に出会い、かわる機会に恵まれている。子どもたちや保護者、職場の同僚、学校コミュニティや自治会のかたがた、趣味の仲間・・・たくさんの出会いは、私にとっての財産である。

人と接することで、自分と違う考え方や感性に気付いたり、自分の言動を見つめ直す機会をもらったり、また、優しさや一生懸命な姿に感動して涙することもある。



次回は古賀さんにリレーします。

同じことの繰り返しのように思える毎日でも、この時、この一瞬は今しかない。人に接するときは、一つ一つを常に新しい出会いと捉え、心を尽くすよう心がけたい。

さあ、明日もたくさんのお会いが私を待っている。まずは、出会えたことに、笑顔で感謝して。

香芝検定のこたえ ④

香芝市総合福祉センター1階に開設されているボランティアセンターは、香芝市社会福祉協議会の運営で、ボランティアグループや推進団体などとの連絡調整、ボランティア活動に必要な知識や技術などの各種講座や研修会などを行っています。

☆編集後記☆

「なでしこジャパン」の健闘が印象的だったサッカー女子ワールドカップ。惜しくも連覇はなりませんでした。一生懸命頑張る姿は見るものに勇気を与えてくれますね。

今回の特集の取材では、男性ももちろんですが、頑張る女性の姿をいろいろな場面で見せてもらいました。彼女たちに共通しているのは、日々を前向きに、そして、はつらつと輝いている点です。そしてその輝きが周りを満たしていく、そんな気がしました。

<古米>

パパッと簡単 クッキング!

お好みの果物を
添えて☆

No.4

ミルクかん

(1人分107kcal)



【材料(2人分)】

粉かんてん・・・2g	みかん缶・・・適量
水・・・1/2カップ	バニラエッセンス・・・少々
牛乳・・・3/4カップ	みつ(水・・・30cc)
さとう・・・25g	さとう・・・大さじ1)

【作り方】

- ①なべに粉かんてんと水を入れて火にかけ、5分くらい煮て、かき混ぜながら溶かす。溶けたら更に2分くらい煮立てる。
- ②①にさとうを入れ溶かし、火を止めてから牛乳を加えて混ぜる。(牛乳は、ひと肌温めておく)
- ③型に流し、冷やし固める。
- ④型から出して、切り分けて器に盛り、みかんを飾って出来上がり☆

*レシピ協力：香芝市食生活改善推進員協議会

時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。
詳しくは、市役所秘書広報課までお問い合わせください。

☎76-2001（内線304）



現在の様子

晴実台周辺

昭和58年
(1983年)

上下水道部保管写真



いにしえ
古のかしばへタイムスリップ
今昔アルバム

広告

広告

広告

広告